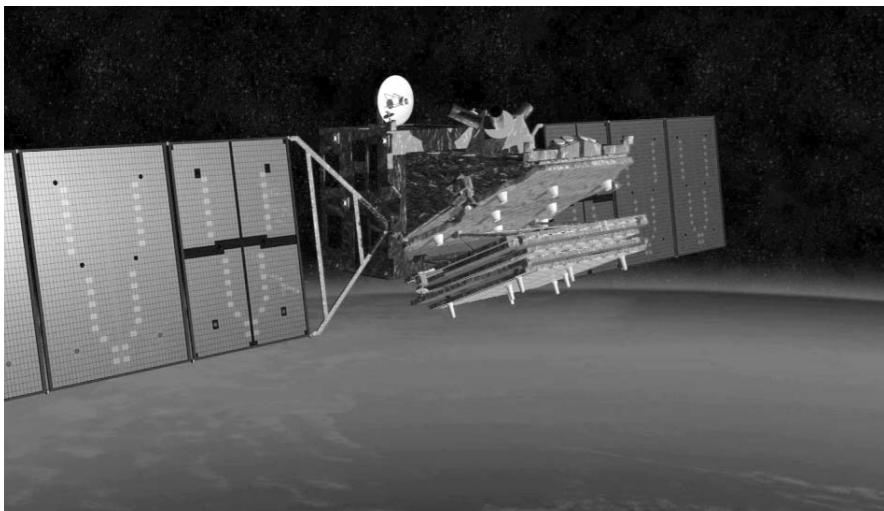
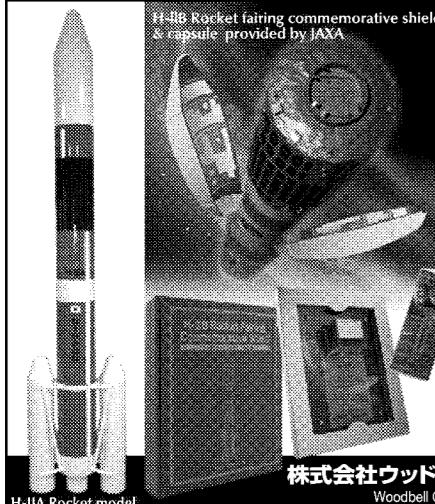


宇宙開発、産業振興の好機に



(c) JAXA
H-IIAで打ち上げられる陸域観測技術衛星「だいち2号」のイメージ

今年度打ち上げ予定の「イプシロン」
H-IIAで打ち上げられる陸域観測技術衛星「だいち2号」のイメージ



実現力 Realization power

イメージをカタチにします
より良いモノを提供します
We put images in concrete form.
We provide better things.

WOODBELL'S
<http://www.woodbells.jp/>

株式会社ウッドベル
TEL:053-421-8686 FAX:053-421-8600
1130-1, Sasagase-cho, Higashiku, Hamamatsu-shi, Shizuoka-ken, 435-0042 TEL:053-421-8686/FAX:053-421-8600



1月に決定した13年度から5ヵ年の宇宙基本計画でも日本版の全地球測位システム(GPS)の整備や衛星輸出など産業振興が掲げられた。民需や外需を開拓し、2020年度に宇宙産業の規模を現状の倍の15兆円へ拡大を目指している。

また内閣府が設置した宇宙政策委員会の宇宙科学・探査部会では、中核となるJAXAが秋をめどに20年先を見据えた日

本の宇宙科学研究のロードマップ(計画案)を策定する検討に入ったことが示された。税収不足による厳しい予算の中、費用対効果を踏まえ宇宙科学・探査プロジェクトを推進することが狙いだ。

今年度はこうした流れを組むうえで、JAXAから注目の4機の国産ロケットが飛び立つ。8月22日に打ち上げられることが決まったのが新型の固体燃料ロケット「イプシロン」。徹底した省力化、部品の共通化、点検

などの開発製造費の抑制や積極的な受注活動がカギとなる。

ISTSは1959年からほぼ隔年で各都市で開かれる国内最大規模の国際会議。宇宙工学、宇宙科学、宇宙医学、宇宙法など関連分野の研究者、技術者など国内外から一堂に会し研究発表や討論を行う機会として定着している。今回、初めて自動車や航空機などのモノづくりが集まる名古屋で開催。特に航空宇宙分野の産業振興を重要視する都市でもあり、産業面からの注目度も高い。

全8日間のプログラムのうちメインの学会は「宇宙ソーリズムの未来」など最新テーマの特別プログラム、パネルディスカッションなどで構成。テクニカルセッションでは地球観測、小型衛星、宇宙太陽光発電システムなど

日本での宇宙開発戦略は従来の研究開発重視から、最近では利用拡大や産業基盤の確立への転換が重視されている。また安全保障や防災、地球観測などの面での活躍が求められるようになってい

る。このほか大型ロケットとして注目の「H3(仮称)」の開発着手も見えてきた。液体燃料工場の補助エンジンを組み合せた大型機で、開発費は2000億円程度とされています。これまで人工衛星の打ち上げなどロケットビジネスは欧米企業が独占しているが、新興国で小型衛星の需要が生まれるなど新たな時代に入っています。日本の技術が参入拡大するには、ロケットなどの開発製造費の抑制や

が図られる。またこの国際会議に合わせ、期間中には広く一般向けに宇宙関連への興味を持つてもらうため、名古屋市科学館(名古屋市中区)をはじめ県内各地で宇宙航空研究開発機構(JAXA)などから講師を呼び、各種のイベントも開かれなど盛り上がりが期待される。

なお学会の参加料は6万円。展示会スペースは入場無料。

「利用」拡大へ 開発戦略を転換

ISTSは1959年からほぼ隔年で各都市で開かれる国内最大規模の国際会議。宇宙工学、宇宙科学、宇宙医学、宇宙法など関連分野の研究者、技術者など国内外から一堂に会し研究発表や討論を行う機会として定着している。今回、初めて自動車や航空機などのモノづくりが集まる名古屋で開催。特に航空宇宙分野の産業振興を重要視する都市でもあり、産業面からの注目度も高い。

全8日間のプログラムのうちメインの学会は「宇宙ソーリズムの未来」など最新テーマの特別プログラム、パネルディスカッションなどで構成。テクニカルセッションでは地球観測、小型衛星、宇宙太陽光発電システムなど

日本での宇宙開発戦略は従来の研究開発重視から、最近では利用拡大や産業基盤の確立への転換が重視されている。また安全保障や防災、地球観測などの面での活躍が求められるようになってい

る。このほか大型ロケットとして注目の「H3(仮称)」の開発着手も見えてきた。液体燃料工場の補助エンジンを組み合せた大型機で、開発費は2000億円程度とされています。これまで人工衛星の打ち上げなどロケットビジネスは欧米企業が独占しているが、新興国で小型衛星の需要が生まれるなど新たな時代に入っています。日本の技術が参入拡大するには、ロケットなどの開発製造費の抑制や

展示会を併催

名古屋で国際会議

時代をやさしく動かすものづくり
We are manufacturing the products that delicately bring the time forward.

人と製品の美しい関係を
Making a Harmony between Human and the Products
High Technology Enterprise

3D-MODEL&5AXIS
原田精機株式会社
Haradaseiki Co., Ltd. <http://www.haradaseiki.co.jp/>
〒433-8104 静岡県浜松市北区東三方町245-1 TEL/053-436-7341



●●● 確かなノウハウ、輝く技術 ●●●

<http://www.hiragaki-s.co.jp/>

株式会社 平垣製作所

お問い合わせはこちらへ
※0543-95-2306